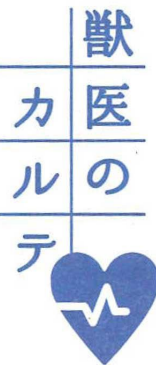


土曜

SATURDAY

# ライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp



かすやあいけん  
びょういん院長  
(富士市)  
粕谷 圭治

膵炎は、悪化すると動物が死亡する場合もある怖い病気です。胃と腸の近くにある膵臓の血流が乏しくなると、消化液がしみだし腹腔内の臓器を損傷して発症します。高脂血症がリスク因子だと考えられています。

膵炎の主な症状は嘔吐、食欲不振を伴う強い腹痛です。上半身を伏せて腕を伸ばしながら腰を上げる「祈りのポーズ」と呼ばれる特徴的な姿勢をみせることがあります。キャンと鳴くこともあります。

## 膵炎



24時間点滴中のミニチュアダックスフント

## 家庭での食事管理大切

痛み、発熱と脱水でハアハアと荒い呼吸が出る場合があります。重篤動物では多臓器不全を起し、昏睡状態に陥り死に至ります。膵炎には特徴的な臨床症状は

ありませんがエックス線検査、超音波検査、血液生化学検査などから診断が可能です。

膵炎は強い炎症と嘔吐で重度の脱水を起すので水分補給がとて

重要です。

症状が落ち着いたら自宅での内服薬の投与と食事管理が中心となります。低脂肪の療法食が推奨されます。食欲不振が続く動物には、

も重要です。嘔吐で飲水できないときには点滴が命綱になります。また「炎症性サイトカイン」と呼ばれる物質がたぐさん出て全身状態の悪化を引き起こし、多臓器不全を起すことがあります(サイトカイン・ストーム)。

点滴は炎症性サイトカインを洗い流し、循環状態の改善が期待できます。口から栄養摂取が困難なときには、空腸にチューブを設置して、栄養を摂取する方法があります。制吐剤や鎮痛剤、抗生物質など症状を緩和する薬も投与しま

手作りの食事を与えることもありますが、栄養のバランスを欠くことも多いので、獣医師や愛玩動物看護師と相談して管理してあげることが理想です。

膵炎は家庭での食事管理がとて大切です。病後におやつやトッピング、ミルクなどの高脂肪食を与えすぎると再発し、慢性化や劇症化し治療の長期化や死亡につながる可能性がありますので徹底して、予防に努めましょう。

毎月第1土曜掲載